



# 広報

# リユース

平成22年 (2010年) 7月号 NO.119

## 今号の主な内容

- ・21年度ごみ処理状況 …… 2
- ・6月組合議会開催 …… 2
- ・第二工場ごみ処理施設における事業着手前の環境影響評価手続き完了 …… 3
- ・21年度情報公開制度の実施状況 …… 3
- ・エコスクール 八潮市立八條小 …… 3
- ・夏休み親子スクール参加者募集 …… 4
- ・こしがや田んぼアート2010 …… 4

ISO14001 認証取得



Cert No.AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合

### 構成団体

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

●第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 FAX.048-965-6569	計画課：☎048-966-0121 総務課：☎048-966-0122	資源エネルギー課：☎048-966-0123
●第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 FAX.048-931-5206	資源リサイクル課 建設準備室	☎048-936-1251 (代表)
●ホームページアドレス <a href="http://www.reuse.or.jp/">http://www.reuse.or.jp/</a>	●発行 東埼玉資源環境組合	●編集 計画課

構成市町紹介シリーズの6回目は、松伏町の「自然環境」や「わんわんパトロール」の取り組みについてお知らせします。

## まつぶしまちは 自然がいっぱいです



中川のからし菜群生

松伏町は川や田んぼ、四季折々の花々などの豊かな自然に恵まれた町です。これらの自然環境は、地球温暖化防止に大きな役割を果たしています。緑の木々に囲まれた「松伏記念・総合公園」は、町民の憩いの場になっています。「まつぶし緑の丘公園」ではさまざまなイベントが行われ、家族連れでにぎわいます。特に、毎週日曜日に開催される農産物・特産品販売は盛況です。自然がいっぱいの松伏町へぜひお越しください。



美しい田園風景



まつぶし緑の丘公園のポピー



松伏総合公園の調整池と風車。風車の屋上は展望台になっています



築比地 (つきひじ) 台地の斜面林



古利根川沿いの桜並木

## わんわんパトロールを行っています



わんわんパトロールの様子

松伏町では、平成18年4月から愛犬の散歩マナー向上と地域防犯を目的に、町民主体による先進的な取り組みとして「わんわんパトロール」をスタートしました。加入者も徐々に増加し、現在、約40人の飼い主が愛犬とともに、日々パトロールを行っています。

### パトロール方法

「わんわんパトロール隊」標章をリードに付け、日頃の散歩コースを自由に散歩します



### 対象

下記の要件をすべて満たす犬の飼い主

- ①町内在住の20歳以上の方
- ②松伏町に犬の登録を済ませている方
- ③過去1年以内に犬の狂犬病予防注射を済ませ、注射済票の交付を受けている方



※詳しい内容は、松伏町環境経済課 生活環境担当まで ☎991-1840

# 平成21年度の ごみ搬入量と処理状況

## 平成21年度の搬入状況

平成21年度に管内5市1町から組合に搬入された可燃ごみ量(せん定枝、刈り草を含む)は、家庭系が180,651トン、事業系が66,719トン、合わせて247,370トンありました。

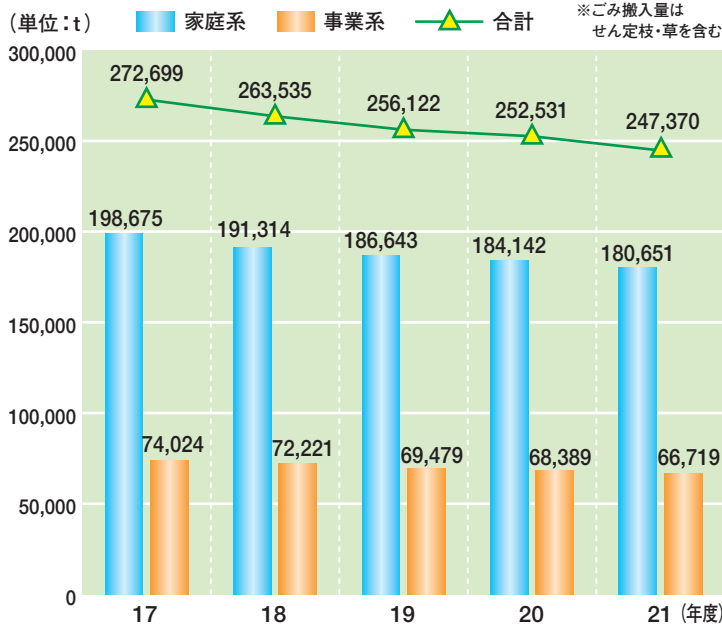
平成20年度(252,531トン)と比べ、5,161トンの減量となり、2%減少しました。

平成17年度(272,699トン)と比べ、搬入量で約25,000トン、率では9.3%減ってきています。(図1)

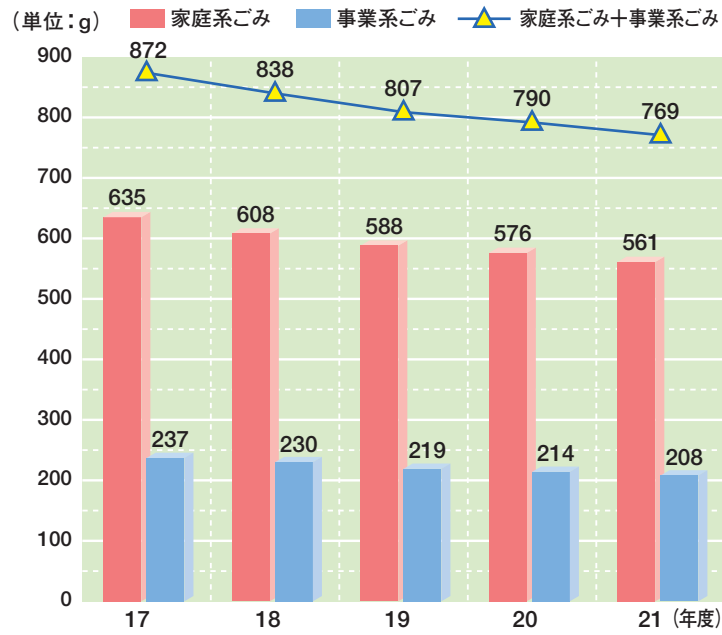
## 一人一日あたりの排出量

家庭系ごみだけで見ますと、住民一人一日あたりの搬出量は56

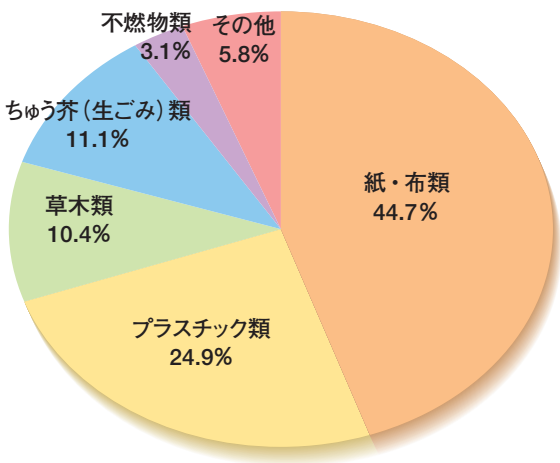
### ごみ搬入量の推移(図1)



### 1人1日あたりのごみ排出量(図2)



### 平成21年度ごみ質分析結果(図3)



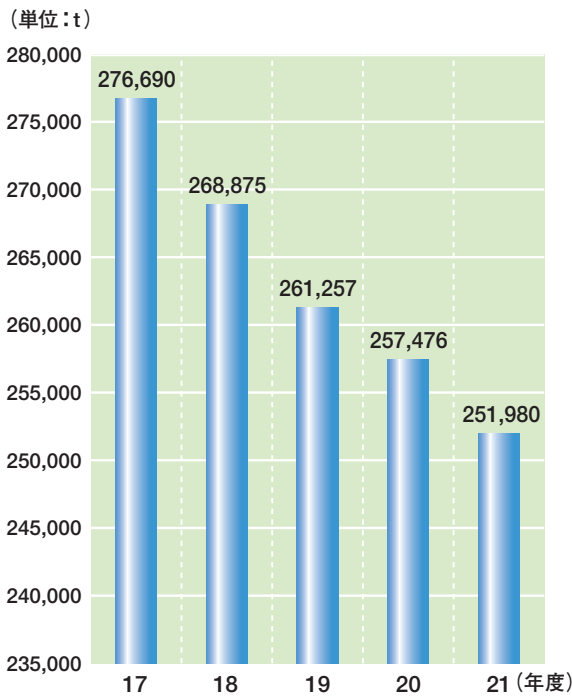
## ごみ質分析結果

組合では、搬入されたごみの品質について、毎月1回(年12回)分析調査を実施しています。ごみピットから約200kgのごみを引揚げ、分析しています。

## ごみ焼却量の推移

平成21年度のごみ焼却量は、251,980トンで、平成17年度に比べて24,710トン少なくまりました。第一工場の焼却施設は、運転開始から15年目となり、ここ数年はほぼ限界に近い状態での運転が続いています。定期的な

### ごみ焼却量の推移(図4)

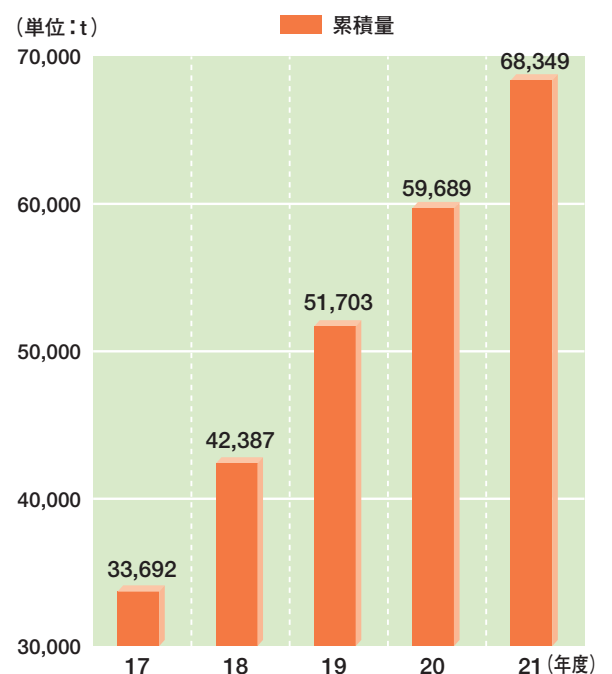


## 埋め立て量

組合では、焼却灰をスラグにし

焼却炉の点検を実施して、設備の更新や部品の取り替えを行っています。平成21年度の埋め立て量は、8,661トンです。平成14年度から8年間の累積埋め立て量は、68,349トンとなりました。また、埋め立て率は、スラグの見かけ比重を1.5として算出した場合、埋め立て容量170,000m<sup>3</sup>のうち26.8%となりました。(図5)

### 最終処分場埋立量の推移(図5)



## 6月組合議会が開かれました

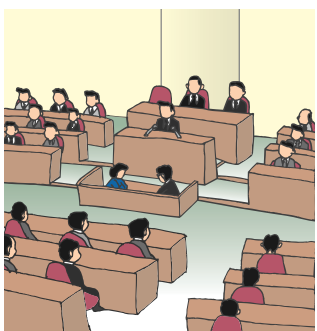
### 【一般質問の内容】

平成22年6月東埼玉資源環境組合議会定例会が、6月25日に開催されました。今議会では、管理者提出4議案が上程され、審議の結果すべての議案が可決されました。

なお、上程された議案及び一般質問の内容は次のとおりです。

### 【管理者提出議案】

- ◆第6号議案 東埼玉資源環境組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について……原案可決
- ◆第7号議案 東埼玉資源環境組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について……原案可決
- ◆第8号議案 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について……原案可決
- ◆第9号議案 第一工場分散型計算機システム更新工事請負契約の締結について……原案可決





# 地域と共に手を つなぐ環境教育

八潮市立八條小学校

八潮市立八條小学校（後藤秀雄校長、児童数464人）は、自然豊かな中川の風を感じられる木々が美しい緑いっぱいの学校です。八條小では「地域と共に」を合い言葉に人々とのふれあいを大切にしながら、さまざまな教育活動に取り組みんでいます。

環境教育については、全教育活動を通して地域と一体となり取り組んできました。子どもたちにとっても環境問題が身近なものであるということを経験的に学習させ、環境を守る実践力を育み、地球全体へ視野を広げられる想像力豊かな児童の育成に努めています。八條小学校での取り組みをご紹介します。

## ①EM菌活動

7年前から、「やさしの川を守る会」の地域ボランティアの方とEM菌の培養に取り組みしてきました。夏場は週に一度、冬場は隔週に行っています。校舎内の便器や

水飲み場の配管に作ったEM菌溶液を流すことで、配管の汚れを分解することが出来ます。また、冬場のプールにEM菌を撒いておく

と、自然の力でヘドロや水の臭いが分解。プール清掃の労力も半減



EM菌でプール清掃

## ②牛乳パック回収&リサイクル

給食で毎日飲む牛乳のパック。再び資源になるように給食委員会

の児童が中心となってリサイクル作業をしています。一年生もパックの開き方を教わると、あつとい

う間に上手になります。クラスごとに物干しピンチにぶらさげて、よく乾かしてから回収ボックスへ集めています。後に作業する人たちのことを考えて、一人ひとりのちよつとしたひと手間を大切にしています。

## ③5年生総合的な学習の時間「環境問題」

秋に行われる学習発表会では、毎年5年生の児童が「環境問題」をテーマに発表をしています。身近なごみ問題から森林伐採、絶滅が心配される動物のことなど、地球全体を考えた環境を守ることの大切さを全校児童に呼びかけています。

## ④4年生「八潮リサイクルプラザ見学」

八潮小学校から歩いて10分足らずの場所に八潮リサイクルプラザがあり、毎年4年生が見学に行きます。そこで自分たちの生活とごみについて見つめ直し、環境を守る大切な取り組みとして「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」の考え方を学んできます。見学から帰ってきて、学んだことを新聞にまとめたり、全校に教室から出る紙のリサイクルボックスを設置を呼びかけたりしました。



ビオトープ

毎年5月30日に通学路のごみ拾いを行っています。通学班の班長、副班長がごみ袋を持って、朝の通学路を班のみんなまでパトロール。小さなごみも見逃しません。校舎裏のごみ置き場で班長が責任を持って分別しています。地域で落ちて

## ⑤ごみゼロ運動

137年の歴史を重ねてきた八條小の校庭には、3階建の校舎と同じくらい大きな木がたくさんあります。木の幹のまわりで鬼ごっこをしている子どもたちの姿や、クローバーが敷き詰められた広場では、シロツメグサの花飾りを作る子どもたちの姿があります。校庭の南側には、ビオトープを地域の力の協力で復活させ、メダカやヤゴ、おたまじゃくしやカエルなどを放し環境を整えました。

環境教育は、科学技術の発展と共にこれからも一層変化し重要となってきます。その一方、小学校という学童期には自然に触れながら情操面を育んでいくことも大切と考えています。お近くに来られた時には、ぜひ、八條小の緑の校庭をご覧になってください。



ごみゼロ運動

## 平成21年度 情報公開制度実施状況

東埼玉資源環境組合では、組合が保有する行政情報についての知る権利を尊重し、組合構成市町の住民の皆様が必要とする情報を積極的に提供することにより、組合に対する理解と信頼を深め、住民参加の推進並びに公正な組合運営の確保に寄与することを目的として情報公開条例を定めています。

このたび、平成21年度の情報公開制度の実施状況についてまとめましたので、最新情報をお知らせします。昨年度に受け付けした公開請求の件数は1件でした。

詳細につきましては下記のとおりです。なお、組合の運営状況については、随時、ホームページ等に掲載しておりますのでご覧ください。

### 実施機関別請求件数および処理状況（件）

実施機関	請求件数	処理状況			
		公開	部分公開	非公開	取下げ
管理者	1	0	0	1	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
議会	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	0

※1件の請求で複数の文書が対象となる場合があるため、1件に対し複数の決定が行われることがあります

### 請求内容

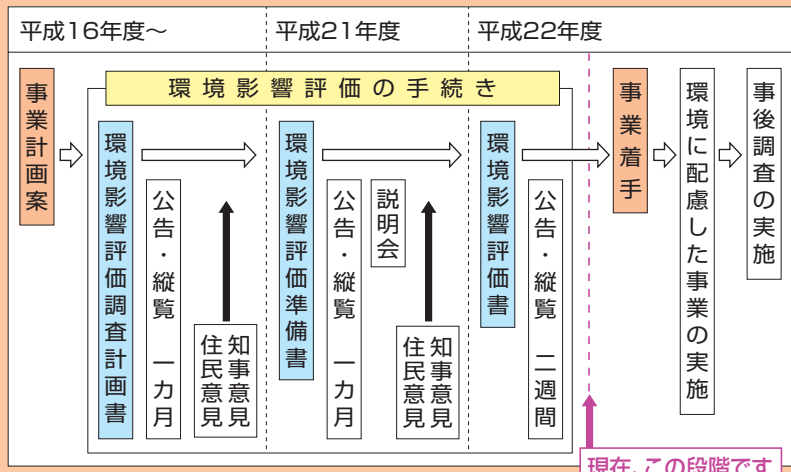
・第二工場の建設に関する循環型社会形成推進地域計画の変更申請に関する文書

問合せ：総務課情報公開担当 ☎966-0122

## 第二工場ごみ処理施設整備事業における事業着手前の環境影響評価の手続きが完了しました

平成16年度から手続きを行ってまいりました「環境影響評価の手続き」が、平成22年7月に環境影響評価書の公告・縦覧を行い完了いたしました。また、併せて都市計画変更の事務手続きも完了いたしましたので、今後は拡張用地の買収などを進め、施設の建設と20年間の運営事業の発注手続きを進めてまいります。

今後、事業へ着手してまいります。環境に配慮しながら事業を実施し、また、事業完了後には事後調査を行ってまいります。



問合せ：建設準備室 ☎936-1251

## 草加市消費生活展でPR活動

6月5日（土）・6日（日）に草加市立勤労福祉会館において「あなたの食 私の食 考え直してみよう」をテーマに、第42回消費生活展が消費生活展実行委員会（堀美紀子会長）と市の共催で開催されました。



6月6日（日）には、消費者団体や協力団体などの展示やフリーマーケット・重さ当てクイズ・大抽選会のほか、古着・廃食油・古靴の回収コーナーなどが設けられ、たくさんの方々が見物されました。当組合も参加し、ごみ減量などの啓発用パネルの展示、買物袋の販売、組合パンフレットや広報リユースの配布、たい肥の無料配布などを行いごみ減量についてPRしました。

今後とも、継続的に組合構成市町のイベントに参加し、ごみ減量のPRを行ってまいります。

### 夏休み親子スクール参加者募集

夏休みを利用して、小学生と保護者を対象に、わかりやすいごみとリサイクル、環境問題の講話と工場見学を実施します。夏休みの自由研究のひとつとして、ぜひ親子でご参加ください。

- ◆日時 平成22年7月27日(火) 午前9時30分～11時30分
- ◆開催場所 越谷市増林三丁目2番地1 東埼玉資源環境組合 第一工場
- ◆内容 子供向け環境のお話と第一工場の施設見学
- ◆講師 スクールカウンセラー、元小学校長 万代 る里子氏
- ◆定員 130人、管内5市1町(越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町)在住の小学生と保護者
- ◆申込方法 7月20日(火)午前8時30分から電話で計画課へお申し込みください。 ☎966-0121 (定員になり次第締め切ります)
- ◆交通 バスの送迎があります。受付順55人まで。申込時に予約してください。JR越谷レイクタウン駅北口のロータリーを午前9時に出発します。
- ◆保育 スクール開催時間中、2歳から就学前のお子さんをお預かりします。希望される方は申込時に申請してください。
- ◆その他 参加費無料。筆記用具をご持参ください。写真撮影は可能です。

**せん定枝・刈り草の個人持ち込み**  
 家庭から出るせん定枝・刈り草の個人直接持ち込みを無料で受け入れています。

◆受付日 毎週月曜日(金曜日(祝日を除く))  
 ◆受付場所 堆肥化施設  
 ◆受付条件 太さ:直径15cm以内  
 長さ:100cm以内  
 枝・草は分けて持ち込む  
 〈搬入できないもの〉根のついた樹木・材木・竹・しゅろなど

◆受付時間 午前9時～正午、午後1時～4時  
 ◆問合せ先 資源リサイクル課 ☎93611251

**堆肥販売の一時休止について**  
 管内の皆さんに、ご好評いただいております。堆肥の販売を在庫の品切れにより7月中は一時休止しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。なお、8月2日(月)から販売を再開します。

◆販売休止期間 平成22年7月5日(月)から7月27日(火)まで

**『リュースたいひメチャ!!すくすく』の販売について**  
 樹木などのせん定した枝や河川の刈り草から堆肥をつくり販売しています。

◆販売日 毎週月曜日・火曜日(祝日を除く) 午前9時30分～11時30分、午後2時～4時

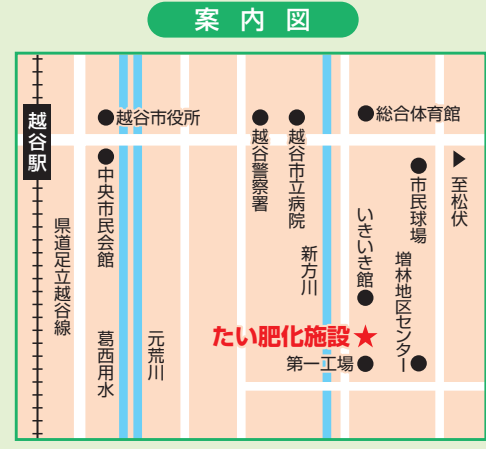
◆販売対象 管内住民

◆価格 堆肥10kgあたり100円

◆販売量 10kg単位で100kgまで

※必ず入れ物をご用意ください。

◆販売場所 第一工場堆肥化施設 越谷市増林三丁目2番地1



**好評販売中**  
**エコバッグ**  
 買物に便利な布製のバッグを販売しています。レジ袋削減のためご利用ください。

◆販売価格 1枚400円

◆大きさ タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm 持ち手(ひも)60cm

◆販売場所 第一工場事務所

◆受付・問合せ先 計画課 ☎966-0121

※なお、第一工場から遠方の方や大量購入の場合はご相談ください。

**統計データ**  
 平成22年4月～6月実績値

■可燃ごみ搬入量 (前年度対比)	22年度 62,461t (98%)	21年度 63,723t
■堆肥化施設搬入量 (前年度対比)	22年度 518t (108%)	21年度 478t
■し尿搬入量 (前年度対比)	22年度 22,510㎏ (94%)	21年度 23,849㎏
■売払電力量 (前年度対比)	22年度 21,867,120kwh (93%)	21年度 23,406,480kwh
■熱供給量 (前年度対比)	22年度 3,648GJ (120%)	21年度 3,050GJ

※熱供給量 G(ギガ)=10億の単位  
 1J(ジュール)=0.24㎉(カロリー)



**古代米で「ガーヤちゃん」を描く**

「こしがや田んぼアート2010」の田植えとアイガモの放鳥が、5月29日(土)、30日(日)に組合展望台西側の田んぼで行われました。

これは、越谷市観光協会(椎子和夫会長)が主催し、数種類の古代米とコシヒカリを使い水田にこしがや鴨ねぎ鍋のキャラクター「ガーヤちゃん」を描くものです。

田植えや稲刈り体験者を募集し、米づくり体験イベントを通じて参加者に農業を身近に感じる機会を提供するとともに、水田に絵を描くことで近隣からの観光客呼び込むことを目的としています。

9月ごろには、高さ80メートルの展望台から色づいた「ガーヤちゃん」が見られることでしょう。

田んぼアートの田植え風景

**ラオス首相一行が第一工場を見学**

(高橋奨会長)の招きにより第一工場を訪れました。

一行は、組合概要についてビデオ視聴や説明を受けたのち、工場内の中央操作室やタービン発電設備を視察しました。

視察後には、越谷市長、越谷市議長との懇談が和やかな雰囲気で行われ、友好を深めました。

一行は、第一工場視察に続いて越谷市農業技術センターを訪問し、5月23日に帰国しました。

5月22日、東京都内で開催された国際交流会議のために来日したラオス人民民主共和国のプアソン・ブツパーヴァン首相や駐日大使の一行12人が、埼玉ラオス友好協会

ラオス首相は右から5番目

**ちよつと一言**

小学生をはじめ、学生や社会人の多くの「一年生」が、第一歩を踏み始めた春は、桜の花びらが散るとともに去り、季節は、やがて夏を迎えた。第一工場の周りの水田地帯も、やがて緑の絨毯と化すだろう。私は、そのような光景になることが待ち遠しい。なぜなら、この時期、そこは、唯一風を見られる場所となるからである。そよ風が、頬をなでながら、緑の稲穂に一闪の波紋をつくる。普段、見ることができないものを見た厳かさを感じる。その時、いつも思う、自然ってすばらしい。(A)

越谷市	327,186人	136,230世帯
草加市	242,821人	105,273世帯
八潮市	82,526人	33,980世帯
三郷市	132,511人	54,857世帯
吉川市	66,197人	24,764世帯
松伏町	31,527人	11,317世帯
合計	882,768人	366,421世帯

